

## あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者  
大分市副市長 久渡 晃 殿

団体名 大分市大南地区文化財同好会  
代表者名 会長 西 哲 弘  
所在地 大分市大字中戸次4491-2  
電 話 097-597-0259  
担当者 [REDACTED]  
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 交付決定年月日     | 令和 4年 9月 1日             |
| 交付決定番号         | 協働第 885 号               |
| 2. 事業名         | <u>大南地区文化財等保存及び継承事業</u> |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | <u>170,000円</u>         |
| 4. 補助金の概算交付額   | <u>170,000円</u>         |
| 5. 補助金の精算額     | <u>170,000円</u>         |
| 6. 事業の成果       |                         |

地域の文化の顕彰・継承及び史跡の保存を図ることを目的に、講演会、機関誌「落穂」の発刊、

出前授業、子ども向けパンフ等を通じて、地域住民及び市内外の方々に情報発信ができた。

また、大南公民館で、地区住民を対象に歴史講座を行い、文化の継承を図ることができた。

7. 添付書類
- (1) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
  - (2) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
  - (3) 活動目標に関する報告書
  - (4) その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	大分市大南地区文化財同好会			
事業名	大南地区文化財等保存及び継承事業			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input type="checkbox"/> 市内全域</p>			
<p>実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)</p> <p>※別紙添付可</p>	<p>時期 (月)</p>	<p>実施場所</p>	<p>受益 対象者数</p>	<p>実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に</p>
	<p>別紙の とおり</p>			

# 令和4年度 大南文化財同好会実績報告

時期(月)	会議・活動、実施場所	受益者 対象者数	事業内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
5月28日	鶴賀城関係整備(春) 鶴賀城本丸 及び 山崎台慰霊碑周辺	9名	道路整備・草刈り、枝打ち、落葉処理
11月8日	鶴賀城関係整備(秋) 鶴賀城本丸 及び 山崎台慰霊碑周辺	9名	道路整備・草刈り、枝打ち、落葉処理
5月19日 6月16日 7月21日 8月18日 9月15日 10月20日 11月17日 12月15日 1月19日 2月16日	<*大南公民館 教室> -地域街づくり事業- 古文書解読事始め(通年) (地域住民 他) 10回シリーズ 戸次の利光地区の 高橋家古文書 及び 吉野の志津留地区の 竹中家古文書 の解読	19名 17名 17名 16名 16名 17名 16名 15名 15名 14名	講 師:大南地区文化財同好会 会 長 西 哲弘 場 所:大南公民館 研修室A 合計(延べ)162名
6月2日 8月4日 10月6日 12月1日 2月9日	<*大南公民館 教室> 歴史散歩(通年) ① (地域住民 他) ② 5回シリーズ ③ 戸次と吉野の史跡 ④ の講義と現地踏査 ⑤	23名 20名 20名 20名 20名	講 師:大南地区文化財同好会 会 長 西 哲弘 場 所:大南公民館 研修室A ③:山崎台・秋月神社他 ⑤:中間石幢・杉原古塔 合計(延べ)103名
10月1日	視察対応 戸次川合戦遺構案内	6名	講 師:大南地区文化財同好会 清松副会長 高橋理事 場 所:慰霊碑、成大寺、願行寺他
10月5日	「落穂(88号)」発刊	100部	会員には、秋季研修会で配付 希望者には500円で販売
10月12日	戸次地区史跡リーフ発刊	2000部	上戸次小、戸次小、戸次中、自治会長、 大南支所、大南老人いこいの家 等
10月15日	すこやか体験楽習 in 大南	13名	判田校区史跡めぐり 小学生・中学生・留学生(大分大)
10月22日	令和4年度 秋季研修会	28名	発 表:「大野川の歴史」 講 師:会員 高橋 泰夫 氏(理事)
11月12日	大野川合戦まつり	300名	役員対応 西会長 野尻副会長 戸高理事
12月12日	戸次川合戦慰霊祭	20名	役員への慰霊祭参列 場 所:戸次 嶺地区 山崎台
2月4日	旧日向道(上戸次地区) 遺構調査	8名	役員、地元住民代表(自治委員等) 場 所:上戸次 影ノ木・上り尾・川原

計 658名

<p>使用した 広報手段 とその効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等）</p> <p>機関誌「落穂」88号を会員、関係機関（国・県・市の図書館等）に寄贈。 「子ども向け戸次史跡リーフ」を戸次小学校・上戸次小学校、及び、戸次中学校の児童・生徒に配布。 「戸次史跡リーフ」資料を大南支所、大南公民館等へ設置。 子ども向け「戸次史跡リーフ」「吉野史跡リーフ」を『歴史散歩』で配布。</p> <p>今年度行った広報の効果</p> <p>大南公民館の講座「歴史散歩」・「古文書解説事始め」は、いずれも熱心に講師の話を聴講し、学びを積み重ねた。 戸次小・上戸次小、戸次中の児童・生徒は、リーフレットを嬉しそうに手に取り見入っていたので、地元の歴史や文化財への興味・関心が高まった。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>3年ぶりに開催された「大野川合戦まつり」には、市内外からの多くの来訪者があり、隣接した「甲冑ブース」との相乗効果もあって、文化財同好会のブースもにぎわい、戸次川合戦に関する質問が多く寄せられ、丁寧に対応・説明した。その成果として、機関誌「落穂」も多少販売できた。 子供向け歴史リーフは、4校区分すべてが出来上がり、社会科や総合の時間に活用されている。 文化財の保存や継承することの大切さを認識してもらい、郷土を愛する気持ちが膨らみ、地域活性化の一助にもなった。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどの様な効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>10月に判田校区で行われた「すこやか体験楽習 in 大南」では、参加した小学生やボランティアとして協力してくれた大分大学の留学生在が、歴史リーフを持って、史跡見学に出かけ、中世の人々の暮らしに思いをめぐらした。 高齢者が多い会員たちであるが、研修会をすると、知人・友人との久々の再会を喜び、さらに長生きをしようというエネルギーが沸いてくるようだ。 体が不自由になったり、死亡したりして、会員が減少傾向にある中、新規会員が3名加わったのは、地道な活動の成果であろう。</p>
<p>来年度に向けた 課題</p>	<p>会員の高齢化が進み、会員の減少に伴い、調査・研究や案内に苦心しているので、様々な手段方法を駆使しながら、60代以下の会員募集に向け、積極的な取り組みを進めていきたい。 本会独自の校区別の「校区一周すぐろく」や杏の会と連携した「大南郷土カルタ」の作成を始めているので、より親しみの湧く、楽しい作品づくりに向けて創意工夫を重ねていきたい。 そして、出来上がったあかつきには、それらを楽しみながら、郷土理解を深め、郷土愛を育む契機としたい。</p>

## あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： 大南地区文化財等保存及び継承事業

### 1 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	170,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	94,000	2,000円×47名
事業収入	25,900	機関誌「落穂」売却益(300円×48冊, 500円×23冊)
その他	5,110	地域の団体より
合 計	295,010	

### 2 【支 出】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	0	
旅費	0	
消耗品費	4,610	鶴賀城草刈り鋸刃、ナイロンコード
燃料費	3,060	鶴賀城草刈りに伴うガソリン
食糧費	3,200	秋季研修講演会用(一般参加者含む)
印刷製本費	130,900	機関誌「落穂」発刊(88号)
通信運搬費	5,270	案内用切手代、ハガキ代、「落穂」の寄贈代
広告料	0	
保険料	0	
手数料・委託費	147,970	旧大南地区航空写真複製委託(3枚) 子ども向けリーフレット(戸次地区) 判田校区一周すごろく図案委託
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費	0	
合 計	295,010	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

# 活動目標報告書

## 1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額

150,000 円

(2) 今年度の自己収益金の総額

125,010 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

大南地区の高齢化率は、31.4%となっている。特に、上戸次・竹中校区は50%を超え、過疎化が深刻な状況となっている。こうした中、会員の高齢化も進み、死亡したり、自力参会が困難となったりしたため、退会を余儀なくされるという事態も進んでいる。小中学生向けの歴史リーフを配付し、古文書解読や歴史散歩などの講座、大野川合戦まつりなどの機会を通して、会員の勧誘を鋭意続けてきているものの、コロナ禍の影響もあり、会員数があまり増えないことが、収益が増えない主たる原因となっている。

記入例：会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。

など

## 2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数

1,000 人

(2) 今年度の受益対象者数

658 人

(3) 受益対象者増に向けた具体的な取り組み

(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

地域内の高齢化に拍車がかかっており、会員の高齢化も深刻な状況である。学校への出前授業や各校区の高齢者大学での講演などを予定していたものの、コロナ禍の影響で、こうした活動が実施できなかったこともあり、受益対象者数が伸び悩んだ。合戦まつりでの広報宣伝活動に力を入れるとともに、大南公民館や4校区の公民館、さらには小中学校との連携を工夫・充実するなどして、活動の活性化に努め、受益対象者の拡大を図っていきたい。